

平成 15 年 1 月 30 日  
 会社名 日本エス・エイチ・エル株式会社  
 (コード番号：4327)  
 代表者役職名 代表取締役 清水佑三  
 本店所在地 東京都中野区中央 5-38-16  
 問合せ先 取締役管理チーム長 - 中村直浩  
 TEL 03-5385-8781

### 平成 15 年 9 月期第 1 四半期の業績等の概況

当社の平成 15 年 9 月期第 1 四半期(平成 14 年 10 月 1 日～平成 14 年 12 月 31 日)における業績等の概況は、下記のとおりです。

なお、本通知書に記載された財務諸表等の数値の一部には、正規の決算手続きを経ていないものが含まれております。また、これらの財務諸表等の数値は公認会計士又は監査法人の会計監査を受けておりません。

#### 1. 業績

(1) 平成 15 年 9 月期第 1 四半期(平成 14 年 10 月 1 日～平成 14 年 12 月 31 日)の業績  
 (百万円未満切捨て)

期別 項目	15 年 9 月期第 1 四半期 (当四半期累計)	対前年同 期増減率	14 年 9 月期第 1 四半期 (前年同四半期累計)	参 考 前期(通期)
	百万円	%	百万円	百万円
売 上 高	194	15.8	168	1,173
営 業 利 益	6	-	2	385
経 常 利 益	6	-	37	350

(2) サービス形態別の売上高内訳

期別 項目	15 年 9 月期第 1 四半期 (当四半期累計)		対前年同 期増減率	14 年 9 月期第 1 四半期 (前年同四半期累計)		参 考 前期(通期)	
	金 額	構成比		金 額	構成比	金 額	構成比
	百万円	%	%	百万円	%	百万円	%
プ ロ ダ ク ト	53	27.7	15.9	46	27.7	507	43.3
ト レ ー ニング	2	1.2	349.2	0	0.3	17	1.5
コ ン サ ル ティング	138	71.1	14.3	120	72.0	647	55.2
合 計	194	100.0	15.8	168	100.0	1,173	100.0

(3) 主な資産・負債の変動について

項 目	15 年 9 月期第 1 四半期 (当四半期)	増減額	前期末
	百万円	百万円	百万円
(資産)			
現金及び預金	692	151	844
(負債)			
未払法人税等	1	84	85
未払消費税等	5	14	20
未払費用	32	12	44
預り金	18	15	3
(資本)			
資本金	560	12	548
第 1 四半期末処分利益	300	60	361

(注)

1. 科目ごとの変動額が 10 百万円を超えるものを記載しております。
2. 「現金及び預金」は、納税、期末配当金及び賞与等の支払により減少しております。
3. 「未払法人税等」「未払消費税等」は、確定納付を行った結果、減少しております。
4. 「未払費用」は、主に賞与の支払のため減少しております。
5. 「預り金」は、期末配当金及び賞与等にかかる源泉所得税分が増加しております。
6. 「資本金」は、成功報酬型ワラント及びストックオプションの権利行使の結果、増加しております。
7. 「第 1 四半期末処分利益」は、主に利益処分の結果、減少しております。

## 2. 業績の概況

当四半期（平成 14 年 10 月 1 日～平成 14 年 12 月 31 日の期間をいう、以下同様）におけるわが国経済は、銀行の不良債権処理問題の長期化やデフレスパイラルからの脱出口が見えないまま、緊張を増すイラク・朝鮮半島情勢ともあいまって、従来に増して厳しい状況が続いております。

このような経済状況は、企業の採用・教育への意欲を萎縮させ、人材アセスメント業界にとって大きな減収要因として働いております。

しかしながら、当社においては、情報技術力と若い社員の活力を背景に、積極的に新しい商材を開発し、大型新規顧客の獲得を目指して意欲的な営業を展開いたしました。

その結果、当四半期の売上高は、194 百万円となり、前年同期比 15.8%増の成長を達成いたしました。サービス形態別にはプロダクト売上 53 百万円（前年同期比 15.9%増）、コンサルティング売上 138 百万円（前年同期比 14.3%増）、トレーニング売上は 2 百万円（前年同期比 349.2%増）であります。

プロダクト売上の増加は、採用・配置用のシミュレーション・ソフト「HURMIS」の貢献によるものであります。コンサルティング売上の増加は、適性テストのインターネット化及び顧客仕様（カスタマイズ）化を促す営業展開が、前年度に引き続き、好調に推移したことによるものであります。トレーニング売上は、管理職のアセスメントを目的にした新サービス「能力測定センター」の営業開始に伴うものであります。

当四半期の売上高 194 百万円（前年同期比 15.8%増）に対し、売上原価と販売費及び一般管理費の合計は 187 百万円（前年同期比 9.7%増）となりました。その結果、当四半期の営業利益、経常利益はともに 6 百万円となり、第 1 四半期での黒字計上に成功いたしました。

## 3. 新サービスの情報

当四半期においては、前述の「能力測定センター」に加えて、当社のベストセリング商品「イメージス」のインターネット版である玉手箱 が完成し、販売開始されております。

#### 4. 研究開発活動

当四半期は、管理職用「能力測定センター」で用いる演習用課題の開発と既存のトレーニングコースのインターネット化を研究開発活動の中心におきました。これらは、いずれも今後の当社事業の核となることが予想されるものであり、当社発展の契機をなすものと位置づけております。

#### 5. 営業所の状況

重要な異動はありません。

#### 6. 当期の見通し

15年9月期の業績予想（平成14年10月1日～平成15年9月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金		
				中間	期末	
通期	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
	1,440	470	272	5,000 00	5,000 00	10,000 00

#### 7. その他

##### (1) 発行済株式数、潜在株式の状況

###### 発行済株式数の状況

	発行済株式数		資本金		資本準備金		摘要
	増減数	残高	増減額	残高	増減額	残高	
	株	株	千円	千円	千円	千円	
平成14年9月30日	-	8,259	-	548,067	-	309,820	
平成14年11月中	10	8,269	1,500	549,567	-	309,820	(注)
平成14年12月中	76	8,345	10,860	560,427	1,285	311,105	(注)

(注) 下記潜在株式（成功報酬型ワラント及び改正前商法第280条ノ19に基づくストックオプション）の権利行使によるものであります。

###### 潜在株式の状況

	成功報酬型ワラント		ストックオプション	
	減少数	残高	減少数	残高
	株	株	株	株
平成14年9月30日	-	106	-	150
平成14年11月中	-	106	10	140
平成14年12月中	12	94	64	76

(注) 減少数および残高欄は、権利行使により発行可能な株式数にて記載しております。

##### (2) 役員の異動

取締役清田茂及び取締役ポール・バジル並びに監査役岡太彬訓が平成14年12月20日開催の定時株主総会において新たに選任され、それぞれ就任いたしました。

取締役スコット・ルーファスは、平成14年11月15日をもって当社取締役を退任いたしました。

以上

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報、及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る、本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。